



しゅんくにたい

根室市 春国岱 原生野鳥公園ネイチャーセンター

ネイチャーセンターだより

2019年9.10月号

新・いきもの図鑑



キアシシギ (シギ科)

ふうれんこ しゅんくにたい はる あき わた じき もっと
 風蓮湖・春国岱に春・秋の渡りの時期に最も
 おお わた なかま まいとし ぜんたい やく
 多く渡ってくるシギの仲間で、毎年全体で約
 わぜんご ひらい
 1,000羽前後が飛来します。しかし春国岱で
 は大きな群はあまり見られず、数羽が防波堤
 きゅうそく ひがた かいがん
 の上で休息したり、干潟や海岸でカニなどの
 こうかくるい
 甲殻類を食べている姿を見ることが多いので
 す。たまに足にフラッグ（プラスチック製の
 こたい せい
 小さな旗）を付けた個体を見かけますが、こ
 わた けいろ かいめい やましなちようらい
 れは渡りの経路を解明するために、山階鳥類
 けんきゅうじよ ちようさいん そうちやく
 研究所の調査員の方が装着したものです。風
 蓮湖では左足のすねに青いフラッグを1枚だ
 けつけており、これまでに本州やオーストラ
 リア、南太平洋の島国バヌアツなどまで飛ん
 で行ったのが見つかっています。

【参考文献・サイト】

中村登流,1995. 原色日本野鳥生態図鑑（水鳥編）
 叶内拓哉ほか,2015. 新版日本の野鳥
 （公財）山階鳥類研究所ホームページ
http://www.yamashina.or.jp/hp/ashiwa/ashiwa_index.htm

アカゲラの幼鳥成長中！

8月29日、自然学習林内のミズキの木でアカゲラのオスが実を食べているのに出会いました。同じ木にメスも来た後、続いて幼鳥も、同じミズキの実を食べにやって来たのです。一瞬心臓がドキンとなるほど、うれしい出会いでした。

今年、自然学習林では2つがいのアカゲラの子育てを確認していたのですが、巣立った後の幼鳥を見ておらず、どうしているのか気になっていたのです。アカゲラたちが来たミズキの木は片方の巣穴に近いので、その巣穴から巣立った可能性は高いと思います。

その巣穴でヒナが誕生したのがわかったのは6月17日でした。休むことなく「ビィビィ」と大きな声で鳴き続けるので、カラスもヒナの存在を把握しており、こちらが心配になるほどでした。アカゲラが巣でヒナを育てる期間は20-21日なので、7月第2週ごろ巣立ったと思われます。その後どこで過ごしていたのかはナゾですが、とにかく今回幼鳥を確認でき、ほっとしました。林内にはアカゲラが好むエゾニワトコの実もあり、これから熟すヤマブドウも今年は豊作のようです。このまま無事に成長してくれることを願っています。



アカゲラのオス



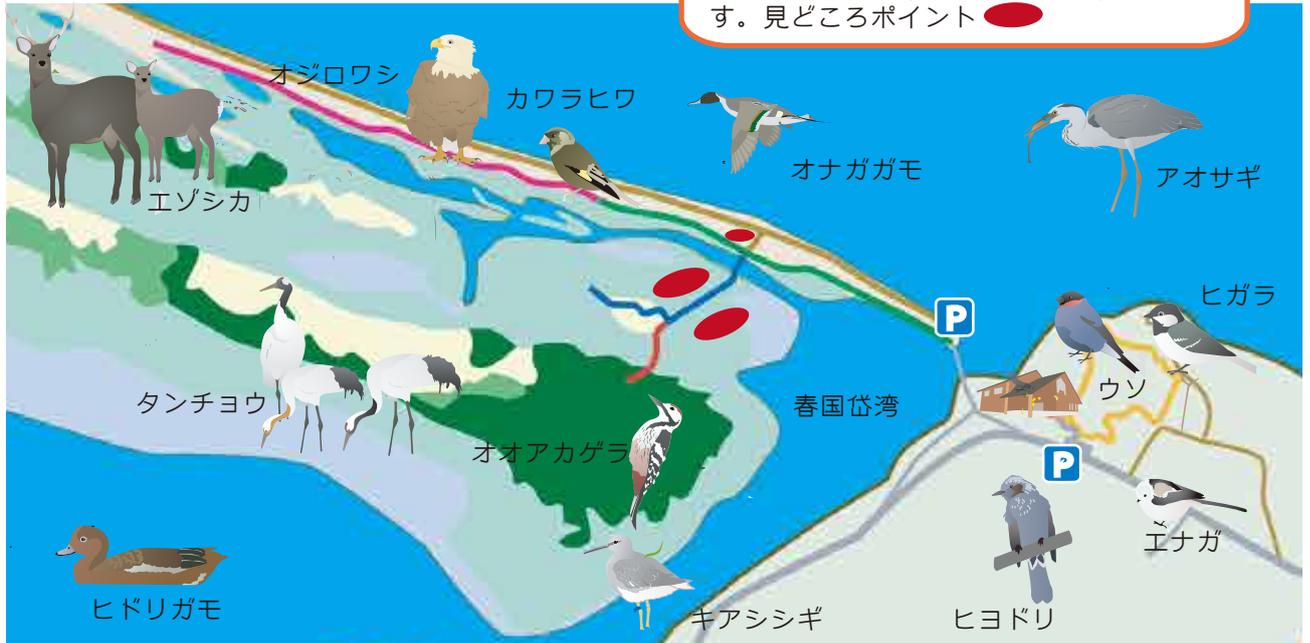
メス



幼鳥
頭頂部全体が赤い

見どころMAP

草紅葉が美しい季節で、緑一色だった湿原が、黄色や赤色に変化します。アッケシソウの紅葉は、例年10月上中旬に見られます。見どころポイント ●



- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

- ☆ 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

9.10月の見どころ予報

凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よーく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ	9月	+	ロシアから越冬のために渡って来る。2018年のオオワシの初認日は11/2。(春国岱・温根沼・走古丹) (オジロワシは、風蓮湖近辺で繁殖したものもある)
	10月		
オオワシ	9月	・	
	10月	+	
タンチョウ	9月	○	春国岱では5月中旬頃生まれた幼鳥が、順調に育っている。数10メートルは飛べるようになる。
	10月		
オオハクチョウ	9月	未	ロシアなどから渡って来る。2018年の初認日は10/9(白鳥台・道の駅スワン44ねむろのスタッフが確認)。春国岱での初認日は10/13。11月中旬頃が最大となり、例年3,000羽前後が飛来する。
	10月	○	
カモ類	9月	+	9月中旬頃から、風蓮湖で見られるカモ類が徐々に増えてくる。数が多いのは、ヒドリガモ・オナガガモ。ほかにマガモ・ハシビロガモ・コガモ・スズガモ・クロガモ・ウミアイサなど。ロシア・アラスカなどから渡って来る。
	10月	○	
カモメ類	9月	◎	オオセグロカモメ・ウミネコが多い。ロシアなどで繁殖した冬鳥のシロカモメ・ワシカモメ、それにユリカモメ(多くは本州以南で越冬)が少しずつ増えてくる。
	10月	○	
小鳥・キツツキ類			ハシブトガラ・シジュウカラ・ヒガラ・ゴジュウカラ・キバシリ キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)は周年見られる。
その他			春国岱の湿原が、緑から黄色・赤、茶色に少しずつ変化し、その移ろいは見事な美しさ。

春国岱で生まれたタンチョウの幼鳥が、飛びはじめました！

前号でお知らせした、春国岱の湿原生まれのタンチョウの幼鳥のその後のようすです。

8月に入っても、「中谷地」と呼んでいる春国岱の森と森の間の湿原の周辺で、タンチョウの親子3羽がそろって採食している姿がたびたび見られました。そして、8月26日、ネイチャーセンターから望遠鏡で観察していたところ、それまで歩くだけだった幼鳥が、成鳥といっしょに数m飛んだのを初めて確認しました。

8月30日の春国岱の調査の際には、もう20mほど飛ぶのが見られました。翼を使うことを覚え、日に日に堂々としてきた幼鳥。これから、どんなふうに行動範囲を広げていくのでしょうか。これからの観察がますます楽しみになってきました。



まんなかを飛んでいるのが幼鳥。頭と顔が茶色っぽい（2019年8月30日）

しゅん くに たい

春国岱クイズ

北極圏から渡ってきたシギの仲間が南へ去っていく季節になりました。

水辺でシギの声を聞くと、なんだか少しさびしい気持ちになりますね。

最近の研究によると、シギの中でも小型のトウネンやハマシギは、泥の多い干潟では「バイオフィーム」というのものをよく食べているそうです。これは、泥の上で増えたバクテリアや細かな藻の仲間とそれらが出すヌルヌルした物質（多糖類）でできた、薄い膜とのことです。ヌルヌル、おいしいのでしょうか？

さて干潟には、他にもバイオフィームを食べている生き物がいるのですが、それは次のうち、どれでしょうか？

- ①ウミニナ（巻貝）
- ②アキアカネ（トンボ）
- ③アオサギ（鳥）



春国岱ネイチャーセンターのイベント情報！

事前にお申込みが必要な場合は、お電話またはメール、直接ご来館ください。

お申込みの際は、参加者全員のお名前、ご連絡先、小中高生の方は学年もお知らせください。



フィールド講座2
「オジロワシ・オオワシの
生態と保護」
10月5日（土）
13:00～15:30（室内講座）



ラムサール条約湿地「風蓮湖・春国岱」の自然や生き物について専門家からお話を聞くフィールド講座。今回は、風蓮湖の周囲で繁殖するオジロワシと、ロシアから越冬のために多数渡ってくるオオワシについて、お二人の講師をお招きします。

両種の生態を長年研究されている白木彩子さんからは、繁殖・越冬・渡り等、生態の全体像をお話いただきます。また浦達也さんからは、近年、ワシ類の生息にとって大きな脅威になっている風力発電への衝突事故について、事故発生メカニズムとその防止策についてのお話を聞きます。

講師：白木彩子さん（東京農業大学 生物産業学部北方圏農学科 准教授）

浦達也さん（（公財）日本野鳥の会 自然保護室主任研究員）

対象者：小学校高学年～大人 持ち物：筆記用具 参加費：無料

募集中！

ボランティアグループ

「スルク」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを募集中です。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月末に1回ミーティングを行い、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画・実施したりしています。

熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のあるかたはご連絡ください。

- ◆対象：年齢18歳以上の方
- ◆年会費（保険料）：1,000円

フィールドマナーを守って

自然をこわさず、生きものたちが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないでください
- 動植物を傷つけたり取ったり持ち帰ったりしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 春国岱及びネイチャーセンターの敷地内は禁煙です
- 春国岱駐車場から先は、許可を受けていない車両の乗り入れは禁止されています
- ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

クイズのこたえ ① ウミニナ（巻貝） シギと小さな貝が同じ食べものを食べているなんて、おもしろいですね。

出典：桑江朝比呂 .2012. トウネンもハマシギもバイオフィルムを食する. Bird Research News vol.9 No.3:2-3.

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

日々の最新情報は、フェイスブックをご覧ください。

<https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆休館日：9月4・11・17・18・24・25日（開館9時～17時）

10月2・9・15・16・23・24・30日（開館9時～16時30分）

◆団体でご利用の方へ（要事前申込）

自然観察や室内でのレクチャー、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録